

令和6年度
自己評価・学校関係者評価（島田北幼稚園）

教育目標	こころおおきくなあれ 個性を伸ばし感性を豊かに育む 挨拶や感謝の気持ちを感じ表現できる、基本的な生活習慣を身に付ける（人間形成の基礎）
------	---

※自己評価は4段階評定 自己総合評価及び学校関係者評価はABC評価にて評定

1. 教育目標について

評価項目	自己評価	自己総合評価	学校関係者評価	
			評価	評価理由
教育目標を理解し子ども達に指導することができた。	3	B	B	目標を特に意識はせず日常の教育活動が行なわれています。指導内容は、基本的な挨拶や生活習慣を中心に、元気で明るい子ども達の育成に務める姿勢が伺われ、目標の趣旨は生かされていると考えます。
子ども達が元よく挨拶が出来るようあらゆる場面で指導した。	4			
明るく元気な子どもの育成に努めた。	4			
子ども達一人一人の特徴を観察し尊重することができた。	3			
毎日の活動で社会的な生活習慣を身に付ける為の指導は十分に行った。	3			

2. 教育計画について

指導計画作成にあたり、子どもの成長状況を把握し配慮している。	3	B	B	計画作成に当たり、個人の意見が多く反映されていないと評価されています。このことは、過去の計画に左右され、新しい計画や保護者ニーズへの対応がやや希薄であるように思われます。楽しく学べる計画の作成に期待します。
指導計画作成には、園の教育方針が生かされている。	3			
指導計画の内容は、過去の計画に左右されず現実にマッチしている。	3			
指導計画には、教育内容に対する自身の考えを十分盛り込んで作成した。	2			
行事等の計画とその運営は適切であった。	3			
計画の変更は、状況により随時行えるよう順応性を考慮している。	4			

3. 教育活動について

子ども達に多くの体験をさせる為の工夫は十分に行った。	3	B	B	生活習慣の指導には自信があり、適切だと評価します。一方で、体験を重視した活動は、コロナ禍以来減少傾向に有り、当園の特徴が失われつつあるように思われます。子ども達の興味を持てるような活動を心掛け、十分な活動準備を行うよう願います。
生活習慣の指導について、一人一人を観察し対応している。	4			
子どもの自主性に配慮し、押付の指導は行わない。	3			
子ども達の発達状況を把握している。	3			
子ども達が興味をもてるような活動内容を常に考え実践している。	3			
教育効果を高める為の事前準備は万全である。	2			

4. 保健・安全について

子どもの視診は、登園時及び降園時に必ず行っている。	4	B	A	意識の高さが評価できます。特に、登降園時に於ける視診を確実にこなす姿勢は、子ども達の健康管理に貢献しています。又、基本的な生活習慣の指導は特に意識し、その効果は評価できます。一方で、事故発生時の対応について、一層の確認をされたい。
危険回避の為に危険個所の把握に努めている。	3			
安全管理について、年齢に応じた言葉や方法で指導を行った。	3			
うがい・手洗い等の基本的な生活習慣の習慣化が図れた。	3			
万一に備え、事故発生時の対応を確認している。	3			
自らも体調管理には十分注意している。	4			

5. 学級経営について

子どもの気持ちを理解し十分に遊びに係わった。いっしょに遊んだ	3	B	B	クラスの責任者としての立場を理解し、楽しく生活できる環境を整えようとする姿勢は評価出来ます。子ども達の話をしっかり聴くことで、気持ちを理解し、個人を尊重するよう特に心掛けることが求められます。信頼を得よう工夫されたい。
クラスをまとめ全員が仲良く楽しく生活できるよう工夫している。	4			
子どもの気持ちに十分配慮し個人を尊重した指導を行っている。	3			
子ども達とのスキンシップは、一人一人全員に十分行っている。	3			
子ども達の話をしっかり聞くよう心がけ実行している。	3			
教師としての品格を心がけた言葉や態度で子ども達に接している。	3			

6. 研修について

研修には常に自らのテーマを持って積極的に参加している。	3	C	C	研修のあり方が変化する昨今、積極的に参加しスキルアップを求めたい。日々の教育活動の中で感じる疑問や思いを具体的に叶える為に、テーマを見つける努力も必要だと思います。日々研鑽を求めます。
研修に参加するのは楽しい。	3			
自らが進んで研修会を選択し参加することで自己研鑽に努めた。	2			
研修で得た内容が毎日の教育活動及び私生活に生かされた。	3			
今後研究したい課題やテーマがある。	3			

7. 保護者・地域との関りについて

子どもの成長について保護者との連携は十分に行っている。	3	C	B	変化する昨今の社会状況により、地域との関わる機会が減少しているように思います。一方で、保護者との関係は多義に渡り、その対応が大変重要に感じます。この点では、教職員の意識も一定程度指導されています。今後は、保護者ニーズを捉えた関わり方を模索し、充実するよう期待します。
担当するクラスの保護者との意思の疎通が十分に図れている。	3			
保護者のクレーム・相談等には園を代表する意識で誠実に対応している。	3			
現在の園と地域との関りは十分だと思う。	2			
地域の主催する行事には積極的に参加している。	2			
「キッズ・くらぶ」の内容は保護者ニーズに即したものであった。	2			

8. 危機管理対策

与薬する場合は、指定用紙に記載し保護者との連絡を密に適切に実施した。	3	C	B	危機管理に関するマニュアルを中心に、対応を確認しています。特に直接子ども達の生命に影響する事項については、十分注意し対応しています。直接経験することの少ない不審者侵入に対する対応は、今後具体的な行動を確認し、安全の確保に努めたい。
感染症及び食中毒の防止対策を行なっている。（マニュアルによる実施等）	3			
不審者侵入に対応する為、手順を確認し万一の場合に備えた。	2			
虐待等の状況が見受けられないか、日々園児や保護者の様子を留意した。	3			
通園バスの運行時等運行の際、車内に子どもが見落としたりしないか常に確認した。	4			
非常災害に備え、常に意識した行動に努めた。	3			

8. その他

自らが求める教師像に向かって努力した。	3	A	B	日々の教育活動や生活に対する感覚に、ややマンネリ化傾向が伺えます。過去の内容に影響されることなく、現在の状況と保護者ニーズを受止めた活動を求めます。更に、チームワークを意識した教職員の協力で、多くの保護者に支持されるよう願います。
島田南学園（組織）の一員として協働することができた。	3			
私生活を含め常に教師としての自覚と責任を意識している。	4			
職務のマンネリ化防止に努めている。	2			
子どもに要求することは自らも実行している。	4			
備品・消耗品等の効率よい使用を考えて実行している。	4			

令和7年3月22日

当委員会は、提出された自己評価及び総合評価表等を基に3月12日に評価を行い、上記の通り報告致します。

学校法人 島田南学園 学校関係者評価委員会
委員長 町 淳子



*自己評価各項に対する評価内容（コメント）は、自己評価書に記載を確認